

# 令和6年度 第1回 介護・医療連携推進会議 記録

## ● 事業所情報

法人名	社会福祉法人くらしのハーモニー
事業所	24時間サポートくらしのハーモニー

## ● 開催日時・場所

日時	令和6年10月17日付け
場所	対面&Zoomにて開催

## ● 参加者(文書返信のあった事業所・担当者) (順不同)

NO	所属(役職)	氏名
1	ラハイナ訪問看護ステーション	水口氏
2	介護支援センターくらしのハーモニー	中村氏(ケアマネジャー)
3	宇治病院訪問看護ステーション	横田氏
4	東宇治北地域包括支援センター	園村氏
5	洛和会訪問看護ステーション桃山	松本氏
6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 宇治徳洲会	池島氏
7	宇治市介護保険課 給付係	古田氏
8	ハーモニー東風館	宮本氏
9		
10		
11		

## ● 議事

NO	議事内容(文書にて送付した内容)
1	サービス提供実施状況と事業の動向、上半期の振り返り
2	事例紹介
3	参加者からのご意見交換・ご要望
4	

# サービス実施状況(令和6年4月1日～令和6年9月30日)

【利用実績】

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均		
利用実人数		34	34	32	31	32	28	31.8		
居住場所	東風館	25	25	22	22	22	20	22.7		
	自宅	9	9	10	9	10	8	9.2		
(再掲)	新規	新規利用者数	1		2	2	2		1.2	
		相談 経路	くらし 居宅	1				1		
			他居宅			2	2	1		
	終了	終了者数		3	4		4	3	2.3	
		終了理由		逝去、他 施設へ	逝去、入 院など		他施設 へ、AD L向上など	逝去、他 施設へなど		

【介護度別サービス利用状況】

介護度	人数 (内、東風館)	定期訪問計 画回数 ※日平均	その他サービス利用状況					通所系サービス (内、こはた) 平均利用回数	居宅支援事業所
			定巡 訪看	医療 訪看	訪問(訪看) リハビリ	障害ホー ムヘルプ	平均利用回数		
要介護1	7(5)	1.5	2				3 (1) 2.5回	くらし：5 他居宅：2	
要介護2	16(9)	2.9	8	1	1		10 (2) 2.2回	くらし：10 他居宅：6	
要介護3	11(9)	2.9	6	1	2	1	8 (3) 1.8回	くらし：10 他居宅：1	
要介護4	4(3)	4.5	1	1	2		3 (1) 2回	くらし：3 他居宅：1	
要介護5	2(0)	3		1				くらし：0 他居宅：2	

( )内再掲 (単位：件)

【平均介護度詳細(利用登録者)】

① 東風館利用者	2.39	②地域居住利用者	2.56	③全体	2.45
----------	------	----------	------	-----	------

【利用者詳細】

居住地域	木幡、六地藏、平尾台		
世帯状況	独居：27名 同居(老夫婦含む)：13名 ※東風館のうち 独居：21名 夫婦：5名		
平均年齢	88歳(前年度比+0)		
男女比	男性：18名 女性：23名		
主な疾患や症状	パーキンソン病、糖尿病、心不全、腎不全、白内障・緑内障、前立腺肥大症、骨粗鬆症(転倒骨折)、K末期、廃用性症候群、幻覚性妄想障害、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、不安障害、痔核、脳腫瘍、多系統萎縮症 等		
通所系サービス利用者数	25名	週あたりのデイ利用 回数	2.4回(平均)

1日3回以上の定期訪問利用者数	19名	ショートステイ利用者	1名
主な利用ニーズ	<p>▼物忘れや生活行為遂行が不十分で、食事水分や内服、家事支援、安否確認等、生活全般の支援をして欲しい</p> <p>▼パーキンソン病で適切な内服が必要だが飲み忘れがあり、内服支援をして欲しい</p> <p>▼自宅(サ高住)で終末期を過ごすための厚いケア体制を整えたい</p> <p>▼急激な心身状態の変化で生活が乱れており改善したい</p> <p>▼転倒で起き上がれない、または転倒による骨折を繰り返しており、緊急時に対応してもらえる体制を整えたい</p> <p>▼1日4回以上の点眼の介助をして欲しい</p> <p>▼高齢な介護者の負担軽減のため、毎日移乗や排泄ケア等を提供欲しい</p> <p>▼家族も高齢となり世話に通うのが大変なため、負担軽減したい</p> <p>▼サ高住での新生活でどんな支援が継続的に必要かを見極めるため、生活状況のアセスメントをして欲しい</p> <p>▼突然の退院指示で正確な情報が得られず、退院直後の不安定期を支えつつ、心身状況・生活状況のアセスメントをして欲しい</p>		
主な定期訪問のサービス内容	<p>起床就寝介助、排泄介助、陰部洗浄、更衣介助、移動・移乗介助、入浴介助、食事(弁当やレトルトなど)の温め、盛り付け、簡単な調理、配膳下膳、後片付け、洗濯、掃除、臨時の買い物、内服促しや確認、水分摂取促し、安否確認、戸締り、ごみ整理・ごみ出し、汚物処理、不安の傾聴、その他</p>		
緊急コール回数(月平均)	10回(不定愁訴、誤報含む) ※サ高住のコール除く		
緊急コール・随時訪問の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力でトイレに行けないので助けて欲しい</li> <li>・支援時体調不良の様子あり、後に臨時で状況確認</li> <li>・点眼がうまく出来ないので介助して欲しい・「不安で動悸がして息苦しいので助けて欲しい」</li> <li>・「排泄を失敗してどうしたら良いか分からない」</li> <li>・「足腰が痛くて動けないので助けて欲しい」</li> <li>・「転倒してしまって動けないので助けて欲しい」</li> <li>・「ベッドから落ちて動けないので助けて欲しい」</li> <li>・声は聞こえるが内容が聞き取れず、状況確認(誤報)</li> </ul>		
定期訪問回数	随時訪問回数	定期支援時間	随時支援時間
3回/日(平均)	310回/月(平均)	11.4分/(平均)回	4.5分/回(平均)

## 《上半期の振り返り》

今年度上半期のサービス提供動向としては以下の通りです。

当事業所は令和6年1月からサービス提供7年目に入り、昨年度よりもご利用者は増え、上半期を通して約31名(前年比+5名)のご利用者へサービスを提供しています。

令和3年末に事業所がサ高住『ハーモニー東風館』に移転し3年が経ち、ご利用者のサ高住入居者が占める割合は7割を超えています。また、訪問事業と併設されたことにより併設からの3年間ADL低下を理由とした退居はありません。

上半期始め、体調変化や認知症の進行など対応に追われるものの、当事業所は34名ものご利用者にサービスを提供することができました。しかし、5月からは体調不良のご利用者が増加し、サ高住のご利用者のご逝去や他施設への引っ越しが重なり、9月にはご利用者数が28名まで落ち込みました。

一方で地域居住のご利用者についてはサ高住のご利用者数が減少した為、一時増加しましたが入院などにより支援件数はほぼ横ばいとなっています。

職員体制については新人が独り立ちしたこともあり、包括と協働し地域活動の参加や脳力アップ教室への職員派遣、くらしの介護相談室開設などより地域に開かれた事業所になれる取り組みを進めることができました。今後は夜間訪問型の定巡の周知も含め、「くらしの定巡」を知っていただけるよう努めていきたいと思えます。

## 《定巡サービスのご利用を通してのご意見・ご要望等について》

### ▼【実施状況】

コメントなし

### ▼【事例紹介】

宇治病院訪看 横田様

今回の事例の方では無いが、インスリン注射見守りが必要な方のサービスに、くらしの定巡と支援を行っている。血糖値が安定している為、ありがたいなと感じている。

その他の利用者様について、看取りケースの場合にも、定巡があるといつも安心する。

洛和訪看 松本様

事例の発表を聞いて他のサービスや家族と連携がしっかり取れていると感じた。パーキンソン病のご利用者の支援に定巡とともに入っている。ターミナルと診断されたが、現状回復しており、デイや体操等参加できるまでになっている。当時は夜間の対応も含めすごいなと思った。

現在関わっているケースでも、インスリン注射や服薬で困っている方々がいらっしゃるので、可能なら定巡を利用して欲しいと思っている。

ラハイナ訪問看護 水口様

ラハイナ訪看との看取りケースがここ最近は多く見られた。ラハイナ事務所の近隣に住んでいたご利用者様に東風館への入所を勧め、旅立ちのお手伝いが出来た事は良かったと思う。

事例のご利用者については、実は受診同行等で関りがあるご利用者であった。またくらしの定巡開設当初も東風館のご利用者様でインスリン注射見守りの方がいたので思い出した。定期巡回が併設し安心できる東風館であるが、空室が目立つ様子の為広報していきたい。

### ▼【意見交換】

東風館宮本館長

東風館内に定巡があると、ご利用者の生活が安定し、長く住み続ける事ができると実感している。これからは地域にどんどん出る事が出来るとさらに良いと思う。

宇治市介護保険課 古田様

定期支援のベースがある上で、随時対応等も実施する事で、家族の負担も軽減していると感じた。

質問：「夜間対応型について、何か事例はあるか」

⇒川端：CMからの相談はあるが、事例は今の所無い。限度額がいっぱいの利用者にとっては使いにくい。逆に余裕のある方については、利用しやすいサービスであると感じる。CMとしてもその辺りの事を気にされている様子もあり、事例がまだ少ないサービスである為、様子を見ているのではないかと思われる。くらしの定巡としては、対応できる体制は整っている。

⇒古田様：「宇治市としても開始間もないサービスである為、尋ねてみたかった」と。

東宇治北地域包括支援センター 園村様

分かりやすい発表だった。包括の場合要支援の方が基本的には対象の為あまり関りが無い。また要支援から要介護の変更になると居宅へ引き渡しとなるので、その後現状どうなっているかが分からなくなる。定巡があると家族と情報共有、連携が出来る為安心だと思う。結果信頼感に繋がり、利用者確保に繋がるのではないかと思う。

定巡宇治徳洲会 池島様

自分たちの定巡の利用者数とは比べ物にならないくらい多い。コールや随時対応の回数もすごく多くて驚いた。

介護支援センターくらしのハーモニー 中村陽様

CMとして考えると、色々な動きについて、例えば排泄、食事、更衣、移動等、生活を支える上で様々な部分で課題が見られた場合に、定巡があるとその課題について早期に発見対応してくれる為助かる。CMが一つ一つ考える事なく、一緒に必要な支援を考える事ができる。定巡のメリットは生活の大部分を任せる事ができ、課題分析とアセスメントが可能である為、CMとしてもやるべき事が明確になり、利用者へ良い影響を与える事が出来る点にある。

今までの定巡が無い東風館では入居後、本人に体調の変化によってすぐに退去の動きになる事が多かった。定巡導入により、利用者が長く生活できる環境を整える事が出来ていると感じる。

今後については、東風館内の利用者とも関りながら、地域の方々の相談窓口となればより良いと思う。

